



2009-2010 年度 RI テーマ
「ロータリーの未来は、
あなたの手の中に」
RI 会長 ジョン・ケニー
地区ガバナー 村上 有司



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1607 回例会

平成 22 年 3 月 8 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

[献血例会]

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 69 名 出席者数 46 名

出席率 66.67% 前回修正出席率 72.46%

4. 会長スピーチ

会長 花畑 重靖 君

みなさんこんにちは。

本日は献血例会です。

また、今月は識字率向上月間です。RI は今月を“識字率向上”月間と定め、地域および世界の識字率を高めるよう奨励しています。

世界中には、読み、書きや計算の出来ない人々が 9 億人を超えています。(その内三分の

二が女性)。これらの人々は生活水準が低く、幸福に暮らすことが出来ずにいます。

本月のガバナー月信とガバナーメッセージに、新入会員紹介に、倉橋君・前田君・箕島君・田岡君が写真入りで載っています。

2640 地区 72 クラブ中 会員数は

- ① 和歌山南 89
- ② 田辺 88
- ③ 堺 78
- ④ 和歌山 70
- ⑤ 海南東 69
- ⑥ 新宮 59

出来れば、本年度中にあと、3 名増員できればと思っています。皆様のご協力よろしくお願い致します。

ポリオについて、ロータリーの友より、20 年前には、世界で年間 35 万人の新しいポリオ患者が発症していました。それが、2009 年には 1,500 人まで激減

したのです。ポリオ常在国は、インド、アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの 4 カ国となりました。1988 年、WHO (世界保健機関) が CDC (アメリカ疾病対策センター) ユニセフ、RI を国際パートナーとして、この地球からのポリオ撲滅プログラムに取り組み始めてから、すでに 20 年が経ちました。

本当はもっと早く撲滅なされるはずだったのですが。冷戦後の世界社会情勢の著しい変化により、撲滅へのロードマップを何回も書き替えざるを得ませんでした。しかし、とにかくゴールまであと最後の数インチというところへ私たちはやってきたのです。

転ばぬ先の杖と知恵、転倒・骨折・寝たきりにならないために「生きていることは、動いていること」ギリシャの哲学者、アリストテレスの言葉です。生命、生活、人生は動いていることであります。

高齢者とは、65 歳以上の方を言います。一応形式的には、老年人口、高齢者ということになっていますが、三段階に分けています。65 歳以上～74 歳以下は「ヤングオールド」、75 歳以上～84 歳以下は「オールド・オールド」、85 歳以上「スーパーオールド」、「高齢者」は、ひとくくりで語られることが非常に多いのですが、変ですね、それは、年代、健康レベルといったもので分けて、無理のないかたちで続くような指導をしないと、良かれと思ってやったことが変なことを起こしてしまうということになります。

長野県でつくった言葉で、全国に知れわたっているのが「PPK (ピンピンコロリ)」という言葉です。これに相對する言葉が「NNK (ネンネンコロリ)」新聞の投書欄である方が書いていたのですが、「寝たきり」「要介護」そのまま天に召されるといった意味です。できれば「PPK」にするための取り組みをしたいと、東御市の身体教育医学研究所にある「ケアポートみまき」を中心にして、地道に続けているのが今のわれわれの活動の一つです。

6. 幹事報告

幹事 寺下 卓 君

○休会のお知らせ

有田 2000RC 3 月 10 日 (水)

3 月は識字率向上月間です

四つのデスト 言行はこれにてらしてから

- ① 真実かどうか ③ 好意と友情を深められるか
- ② みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 花畑 重靖 幹事: 寺下 卓 SAA: 名手 広之

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

7. 献血例会

○輸血の必要性

血液は人間の生命を維持するために欠かすことのできない成分です。体内から一定量が失われると、命に関わります。また、血液のもつ機能が正常に動かなくなると病気になったりします。このようなとき、患者様を救うために輸血が必要となりますが、輸血用血液は、献血によってしか確保することができません。

血液は人工的に造ることができないから、血液は科学が進歩した現在でも人工的に造ることはできません。また、血液は生きた細胞ですから、長期間保存することもできません。輸血に必要な新鮮な血液をいつでも十分に確保しておくためには、絶えず誰かが献血していかなければなりません。みなさま一人ひとりの献血への参加が、病気やけがの治療を支え患者様を救います。

国内自給率100%を実現するために、輸血用血液は、すべて国内の献血でまかなわれています。しかし、血



液中の血漿を原料として製造される血漿分画製剤は多くを輸入に頼っています。このような製剤の安全性の確保と倫理的な見地

から、国はこれらについても国内の献血によってまかなう方向性を示しています。

国内自給を達成するためには、さらに多くの献血が必要とされています。皆様のご協力をお願いします。

和歌山駅前献血ルーム

〒640-8331

和歌山県和歌山市美園町5丁目1番地2

新橋ビル5階



TEL: 073-427-2770

FAX: 073-427-2771

定休日: 毎週金曜日

8. 委員会報告

○親睦委員会

委員長 大江 久夫君

例会終了に家族会について、委員会を開きますので、委員の方は残ってください。

9. 閉会点鐘

次回例会 第1608回例会: 22年3月15日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

ゲスト卓話 自衛隊和歌山地方協力本部部長



ニコニコ・BOX

○一般ニコニコ

上中 嗣郎君

岩井君にお世話になりました。

谷脇 良樹君

2回目のPETSへ行って来ました。いよいよです。

寺下 卓君

今日から12日まで地区のWCSでインドネシアバリ島に行ってきます。留守中よろしくお願いします。

山名 正一君

本日は献血例会です。ご協力お願い致します。



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ロータリーの友

チリの各地区が地震被災者援助に総力

去る2月27日に同国の太平洋沿岸部を襲った強い地震と津波により壊滅的な打撃を受け、住居を失った何万人もの人々の救援に、チリのロータリー各地区が総力を上げています。

死者数が800人近くに上る中、チリ政府は国際援助組織と協力し、危機的な状況にある生存者に食糧と水を提供しました。沿岸部の多数の町が、マグニチュード8.8の地震と、その後に押し寄せた津波によって壊滅状態にあります。

第4320地区ガバナーのレイース・ベリーズ・セヴェリノ氏は、救済活動に当初の資金として9,500ドルを充てました。最も被害の大きかったビオビオとマウレ地域の4



クラブは、衣服、靴、毛布の寄贈活動を開始しました。シェルターボックスの救援チームは、最初の448箱のシェルターボックスを届けるため、すでに首都サンティアゴへ向かっています。サンティアゴロータリークラブは3月3日の緊急会議で、シェルターボックスをどの地域に配給すべきかを救援チームとともに話し合いました。

被災地にいたロータリー国際親善奨学生6人については、無事との報告が入っています。

ジョン・ケニー国際ロータリー(RI)会長はチリの第4320地区、第4340地区、第4350地区、および第4360地区のガバナーにEメールで追悼の意を伝えました。